

2013年7月1日

名古屋市長 河村たかし様
緑政土木局長 山本秀隆様
道路建設部長 兼岩 孝様
道路建設課長 井田宏正様
道路建設課主幹 鳥原正太郎様

水・森・いのちを守る
ラブリーアース J a p a n
事務局 古川善嗣
〒457-0863 名古屋市南区豊4-22-10
Tel/Fax 052-821-6463
<http://lovelyearth.webdeki-hp.com/>

相生山緑地の道路建設にかかわる要望書

都市計画道路「弥富 相生山線」建設中止の政治判断を要望します。

環境に配慮した街づくり（「河村たかし第2期マニフェスト」綱目/政策6）のため、市民の生活の質の向上維持（「学術検証委員会報告書」/はじめに）のため、未来志向の政治判断を望みます。

多様な動植物の、いのちあふれる相生山緑地を、まるごとこのまま残してください。

先の市長選のマニフェストやマスコミ報道によれば、「相生山は（地元4学区の）住民投票で、住民自ら高度な責任ある判断を」とされてきました。今後の進め方は明らかにされていませんが、この住民投票が名古屋市民の未来にとって最良の選択なのでしょうか。

「市長の前でちょっといい対話 in 相生山」（2009年9月26日）以後、同年12月から始めた「相生山の四季を歩く会」は、この6月で3年半/通算42回、名簿記載参加者1,224名となりました。

その観察データの一部は、昨年7月13日提出の「要望書」と「添付資料」として、お手許に届いていることと存じます。（1）相生山の猛禽類・希少植生について、市の調査を補足し、（2）会の様子をお伝えすることで、たくさんの市民の願いをくみとっていただき、「学術検証委員会」の答申も踏まえた政治判断をお願いしました。

今回「相生山の四季を歩く会」が始まって以来の参加者データをまとめました。資料 【参加者集計表：住所別】、あわせて資料 【2013年6月のアンケート回答まとめ】をご覧ください。

このなかで、地元4学区住民は、実数29/290人=10%（うち名古屋市民 29/245人 11.8%）延べ数155/1224人 12.7%（うち名古屋市民 155/1083人 14.3%）という数字が出ています。

相生山に関心があり、自然とのふれあいを求めて参加してくる人々は、市内各区、名古屋市近郊やそれ以遠の広い範囲にも及んでいることが分かります。相生山緑地の未来について、地元の人々の意向はもちろんですが、さらに多くの市民の意向もまた充分に考慮する必要があるということ、このことは示しています。

アンケート回答をホームページで紹介したところ、感想メールが届きました。

「・・・地元の人には相生山があって当たり前前の景色で、その良さ、貴重さに気がつかない人、多いのではないかと。かえって離れた所に住んでいる者のほうが、名古屋の街中に自然豊かな森が残されている事に驚き、感激する。・・・」（昭和区/60代女性）

「多くの方が相生山に来て喜んでおられますね。感心したのは、名古屋市外の近郊から時間をかけて参加されているのですね。比較的近くから参加されているものと思っただけにびっくりしました。相生山の存在が近くの者だけでなく広がりをもって認知されているのですね。」

(地元・天白区/60代男性)

河村市長はじめ、行政の各部所で市民のために奮闘いただいている方がたに、市民の声を少しでも多く届けたく、これまでも意見書や要望書で紹介してきました。最近寄せられた声の一部です。

「自然と遊べて、とっても楽しかった」

(西区/中2女性)

「身近にこんな自然があるとは知りませんでした。・・・」

(豊明市/20代女性)

「以前から一度来たいとは思っていたが、想像をはるかに超えた素晴らしい森に感動！」

(千種区/50代男性)

「・・・あれほどの自然が残っているとは、初めて知りました。名古屋や名古屋近郊も捨てたものではありませんね。」

(豊田市/40代女性)

「これほど近くに自然と出会える良い場所を知り、皆さんの親切とステキな説明がすべて良かったです。来月も来ます！よろしくお願いします。ありがとうございました。」

(南区/30代女性)

「今年もヒメボタルの季節がやってきました。いつもと変わらない森の中に道路建設が進むことで、みんなが楽しみにしている輝きが損なわれることのないように、と願うばかりです。」

(緑区/40代女性)

ホームページ [相生山の四季を歩く会 または ラブリーアース 検索] の記事には、四季おりおりの相生山の画像と参加者の声があふれています。

私たちの短い期間の活動の中でも、「一緒に相生山を歩いた方は未だ未だほんの少し、もっともっとたくさんの方が関心を持っていて、一度行ってみたいと機会を待っている」という事実を知ることができました。

たくさんの方の願いがあります。
子どもたちに伝えたいことが、いっぱいあります。
広く高い見識からの政治判断を、
よろしくお願いいたします。

高度な責任ある判断を下していただく立場の方に、
私たちは、その判断の材料を不断に提出し続けます。
変わることのない市民の願いです。

一度また、相生山に足をお運びください。

相生山を大切に思い、
みんなのいのちと生活を大切に思うからこそ、相生山を大切に思う、
市民たちとの対話も、
もう一度いかがでしょう。

以上